

# 特別伝道集会

「とこしえの幸い」

- 日時 **8月20日(土)** 午後2:00より  
**21日(日)** 午後2:00より  
(各集会 約1時間)

●語る人 竹尾 潤氏

入場無料

## ●会場 城野キリスト集会所

北九州市小倉南区重住2丁目6-1  
☎093-931-5512  
<https://jonochrist.com>



**P** 車でお越しの方は駐車場があります。

「神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。」

= 聖書 =

キリトリ線  
郵便はがき

802-0811

恐れいりますが  
手をはって下さい

城野キリスト集会所行

北九州市小倉南区  
重住二丁目六一

キリトリ線  
ハガキにご記入の上ご投函下さい。  
返信をお待ちしています。

◎ご希望のところに○印をつけてお送り下さい。(無料)

- (1) 聖書とキリストについてもっと知りたいので、そのことに関する印刷物を送って下さい。
- (2) 新約聖書を送って下さい。
- (3) 自宅に訪問を希望します。

氏名		年		才
住所	〒 (連絡先 TEL - - )			

※お知らせいただいた個人情報は、上記以外の目的では一切使用いたしません。

「人の一生は悲しみであり、その仕事には悩みがあり、その心は夜も休まらない。」

伝道者の書 二章二十三節

加山雄三さんが年内をもって、コンサート活動を引退すると朝日新聞の取材に明らかにしました。華やかな印象を受ける加山雄三さんですが、親族のホテルが倒産し、二三億円の借金を背負ったこともあったそうです。人生なんて苦しいことが九割で幸せなことなんて一パーセントと語っておられました。

冒頭の聖書のことばは、ソロモンという王様が書き記したものです。栄華を極めた王として知られ、富も権力もソロモン以上の王はいませんでした。

しかし人生には、悩みや苦しみが多いと書き記したのです。

「あなたの若い日に、あなたの創造者を覚えよ。」 伝道者の書 十二章一節

「神を恐れよ。神の命令を守れ。これが人間にとってすべてである。」

伝道者の書 十二章十三節

日本には多くの神々が存在しますが、それは人の手によって作られたものです。聖書の示す神は創造者であり、天地万物の造り主です。

ソロモン王は伝道者の書の最後に「この創造者である神を覚えよ。神の命令を守れ」と書き記しました。神を認めない人生は悩みが多く、はかない人生を生きなければならぬと悟ったのです。

「人はみな草のようで、その栄えは、みな草の花のようだ。草はしおれ花は散る。しかし、主のことばは、とこしえに変わることがない。」 ペテロ第一の手紙 一章二四、二五節

人の一生は、草の花のようで、はかない短い一生を送らなければなりません。しかし、聖書は神のことばであり、決して変わることがありません。

このたびの特別伝道集会ではこの聖書から、まことの神が人となられたイエス・キリストについて語られます。集会においで下さり、聖書のことばに耳を傾けていただきたいと思います。



### 定期集会のご案内

- 日曜日 午後 2:00
- 火曜日 午後 7:30
- 木曜日 午前 10:30 (毎月2週・4週)
- 日曜学校 午前 9:00 (幼・小・中学生)

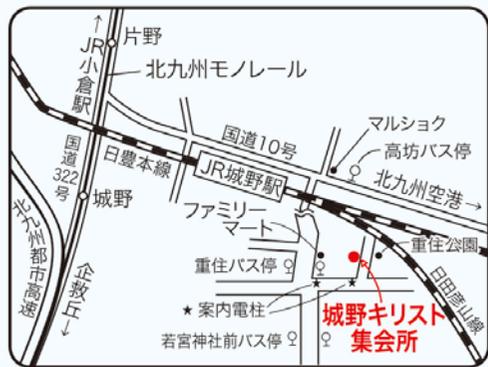
(各集会 約1時間)

### 城野キリスト集会所

〒802-0811

北九州市小倉南区重住2丁目6-1

☎(093) 931-5512(集会所)



— 入場は無料です —

どなたでもご遠慮なくおいで下さい。

● 私たちの集会はエホバの証人、統一協会、モルモン教会などの団体とは全く関係がありません。